

(別紙2)

3. 助成対象事業の成果（結果）

【事業名】事業名のほか、A事業①②、B事業の別も記入してください

県内中小企業支援データベースの構築と活用（B事業）

【目的〈課題認識、方向性、目標、事業実施計画等〉】

- ・岩手県の課題…人口減少と少子高齢化の急速な進行、東日本大震災からの復興
- ・岩手県の目標…域外市場産業育成による労働生産性向上と企業の経営力強化、第4次産業革命の流れに基づく地域産業活性化と国際競争力強化
- ・センターとしての課題…販路開拓・人材育成の積極的支援
- ・センターとしての目標…豊富な支援実績をデータ化し、第4次産業革命の流れを自ら体現するための「つながる支援機関」を目指し、各支援機関等を巻き込んだプラットフォームを構築する
- ・事業実施計画…①支援実績、企業等訪問履歴を共通化した上で追加調査も行い、追記・更新できる仕組みを整備 ②これまで行ってきた商談会・展示会について、近年、別事業で支援実績が増えている分野（農林水産業・建設業・小売りサービス業等）に対する横展開を行うことが可能な仕組みとする ③センターのWEBで公開しマッチングに活用する ④将来的に、他の支援機関等とネットワークを構築できるシステムに拡張する

【成果（結果）〈実施事業の内容・実績、実施した結果生まれた新たな課題等〉】

各事業でまとめ方が異なっていた支援企業リスト、履歴類を1つのデータベースにまとめ、対外的に公開するシステムを構築することができ、とくに製造業一覧については、長年にわたり冊子のみで提供していたものを、WEB上でも公開できるようになり、迅速なマッチングに応用できるなど、利用者の利便性も向上した。

ただし、事業ごとに必要な情報、不要な情報が全く異なり、またその分類・表示についても、すべての担当者が納得できる形となっていない現状であり、今後継続的なブラッシュアップが必要である。

【評価〈目標の達成度〉、数値の検証等】

- 1) 県内中小企業データベース構築1,000社
⇒ 県内中小企業約1,600社のデータを格納
- 2) うち企業経営資源のWeb公開600社
⇒ 県内製造業約300社が公開に同意
…実際に製造業に対し追加調査を行ったところ、WEB上での公開に同意した企業が想定より少なかったため
- 3) 県外連携（取引）候補企業データベース構築800社
⇒ 県外製造業（東京ほか）約810社のデータを格納

【今後の進め方〈波及効果を含めて〉をどうするのか】

- ・データベースの拡充（ほかの事業のデータも統合）
- ・項目、インターフェイスの改修（入力のしやすさ、データの使いやすさ、閲覧のし

やすさをブラッシュアップ)

- ・他機関との連携の検討をはかり、センター、ひいては岩手県産業界にとって必要なデータベースとなることを目標に、より強力なものにしていく